



ロータリーを通じて  
世界理解と平和を

WORLD UNDERSTANDING & PEACE THROUGH ROTARY



会長 新穂光一郎 幹事 藤川享胤 副会長・クラブ専任 内山喜一 職業専任 迎田 稔 社会専任 川村徳男 国際専任 横田庄司 青少年専任 佐藤順治  
出席報告：会員 68 名 出席 47 名 出席率 69.12 % 前回出席率 76.47 % 修正出席 62 名 確定出席率 91.18 %



会長報告

ICM関連

- 4月24日、かねて準備致して居りました I.C.M が開催されました。天候に恵まれ、桜もみごと散らずに遠来の参加者に笑みを投げかけて居りました。委員の皆様、本当にご苦勞様でした。お礼申し上げます。
- I.C.M席上での話ですが、作田ガバナーは新年度まであと2ヶ月あると油断せず、早めに一年の計を樹てるよう呉々も申して居りました。私の任期もあと2ヶ月ですが、I.C.Mで9割仕事は終わった感じです。
- 石黒ガバナーは、ルール上の信念は貫ぬく覚悟であると、力強い話がありました。
- モナコの規程審議会には浜田バストガバナーが出席の予定であるが、万一の場合は作田 P.G が代行する積りとの事でした。
- 地区の出席優良クラブは、会津 (96%)、山形中央 (94%)、置賜の順になる。任期中更に努力してほしい。又会員増強も3月31日現在で77名であり、昨年の107名は及ばないと話して居りました。
- 斎藤栄作氏より電話があり、病気の方は全快したが体力消耗につき、もう少し欠席するとの事でした。
- 阿部清三氏より送別会のお礼状が来て居ります。
- 早坂 P.G が入院されたとの事心配です。

石黒ガバナーノミニー I.C.M の謝辞

去る4月23日の諮問委員会、翌日の I.C.M 見事に完了しホスト・クラブの皆様にご心から感謝し、その労に深くお礼申し上げます。私は今回のように要領よく豪華な I.C.M は経験した事ありません。参加者からもお世辞とは思えない賞讃の声を聞いて居ります。

幸いに晴天で桜も満開で、新穂会長、川村徳男君を初め各委員の綿密な企画を設営準備、会員の

奉仕の努力の賜物です。

特にプログラムがアカスケして見易しかった点、会場の選択が適正であった為、参加者にゆとりを与えたようで、前回(23日)第一イン9階で鶴岡の夜景を見ながらの水割りパーティーは印象的でありました。

悪かった点は私が感激の余り上がって十分な謝辞が口から出なかった事です。

嬉しかった事は、お体の回復していない早坂 P.G が出席して下さいました事、出席義務者でない穴沢 P.G、大原 P.G が、私を激励に友情出席して下さいました事です。

翌日は、何か気が抜け、バーナウト・シンドロウムかと疑われる程、無反応となり風邪気味で就床休養しました。

作田ガバナーは翌日から日韓親善会議で奥様と共にソウルに出発されました。ガバナーの任務は大変な労働で体力の要するものと思われました。

我々は今回の I.C.M から立ち上がったわけであり、今後一層のご支援を頂くものと思ひ恐縮して居ります。

小松広穂次期地区幹事 I.C.M 謝礼

I.C.M については今、石黒 G.N が私の云いたい事を全て云い尽しましたので、別にありません。本当に有難うございました。

石黒 G.N が7月1日ガバナーに就任する迄は G.N に何の権限もないに関わらず、就任前半年間の地区行事は G.N が設営ホストを努めなければならない訳で、非常に苦しい立場に置かれて居ります。

或るクラブの先輩ロータリアンから云われましたが、I.C.M という最初の大きい行事がこんなにうまく行くなら、今後の地区協議会、地区大会もきつとうまく行くだらうと云われた言葉は今でも耳に残って居ります。

この素晴らしい成果を胸にきざみ、これから行われる5月9日現・次期分区代理研修会、6月19日地区協議会、7月3日地区委員会総会、7月10日事務担当者研修会等の行事を G.N 事務所スタッフ張切って居りますので何卒よろしくご協力の程お願い申し上げます。

会員スピーチ

趣味としての合気道 工藤弘道君 (前略)

庄内に空港を建設しましょう

私、学生時代に合気道をやっておりました。剣道・柔道と同じ武道の合気道でございます。本日は、「合気道」についてご紹介をさせていただきます。

よく「合気道とは、どんなことをどう言う風にするのですか」「柔道と似たようなものですか」「空手の一種ですか」と言うようなご質問がございます。

昔、作家の富田常雄先生が「姿三四郎」と言う小説を書かれました。ご存知の方も多と思われるのですが。講道館柔道の成立期をモデルにしたものだそうです。この「姿三四郎」に出てくる主人公「姿三四郎」も含めました柔術家の使う「わざ」…「やわら」が、現在の柔道及び合気道の源流になっている訳でございます。

日本には、古来より素手で、相手の暴力を封ずる「やわら」すなわち柔術と呼ばれる武術がありました。戦国時代に小具足とか腰回りとか呼ばれ江戸時代に「やわら」として完成したものがその流派は記録に残るものだけでも179におよぶとか申します。

講道館柔道は、嘉納治五郎先生が、明治初年、東京大学の学生の頃、この柔術すなわち、天神真流柔術と起倒流柔術を学びその他の柔術を参考にして体系化し、これが発展してきたのが、柔道となったわけでございます。ただ、「やわら」には、柔道に使われていない「わざ」がまだまだあるわけでございます。この柔道以外のわざを体系化したものが「合気道」であろうかと思えます。いわば柔道の弟分に当たるものと言えます。

「やわら」のわざを大別いたしますと次の2つにわけられます。1つは、投技・寝技があります。相手と接近して、たとえばエリとかソデをつかみ足腰を使って相手を倒す「投技」と寝た姿勢で「わざ」を決める「寝技」があります。これが現在の柔道であります。

もう一つは当身技・関節技であります。すなわち、相手と離れていて、相手が打ってくる、けっける、突身してくるような場合に、一瞬相手の弱点に当て身をくわらせるか、あるいは、関節の逆をとり倒す当身技・関節技があります。すなわち、柔道の領域から除かれたこの当身技・関節技を体系化・発展させたものが合気道であります。

(中略)

合気道の効用を若干申し述べますと、まず、第1にこれは他のスポーツと一緒にですが、身心の鍛練をはかれることに尽きます。特に、手首・指・関節・足首・腰等の末端部分を良く使うためこれが、内臓に良い結果をもたらすと言われております。

第2に、護身術として使えると言うことです。私は一度も使ったことはございませんが。

現在、警察庁で採用しております逮捕術・護身術は、この合気道を基としてできております。

現代人は社会生活を送るうえでいろいろな危険にとりまかれていると言えます。ご自身の健康及び安全術のため合気道をおすすめする次第でございます。(後略)

ご静聴ありがとうございました。

## 第5回クラブ協議会

S57.4.27 PM4:30 於 湯田川温泉御殿旅館

**会長** 6月の第6回クラブ協議会は新・旧役員委員長の会議となるので、今回の第5回クラブ協議会は今年最後の協議会となりますので充分協議して下さい。

**SAA 佐藤陸男君**

例会場のテーブルの位置を変え、委員会ごとによりたいと思う。5月15日の例会に取りたての孟宗汁を出します。毎回の料理をより以上美味しいものにしてくれるようエルサンの早坂社長に申し入れました。

**親睦活動委員会 中江亮君**

5月に山菜取り親睦会を計画している。会員の病氣入院者へ見舞いを差し上げたい。

**会員増強委員会 三井健君**

会長が例会で強調している通りである。予算1万円が残っているので使用方法を考えたい。

**会員選考委員会 飯白祐佑君**

特別申し上げることはありません。

**広報委員会 今野清一君**

荘内日報さん、山新さんが台中港区訪鶴、石黒ガバナノミニ事務所開所式、市役所広報板の寄贈、鱈汁会スナップ等々記事が多く出しました。

**ロータリー情報委員会 小松広穂君**

2月9日のファイアサイドミーティングは情報委員会初めての26名の出席がありました。出来れば年度内にもう一度行ってみたいと思います。

**会報委員会 菅健君**

予算が許せば6月の最終号を特別号に編集して見たいと思います。

**職業奉仕委員会 迎田稔君**

優良職業人の表彰を行いたい。ローターアクトクラブへ職業のスピーチをお願いしたいと考えております。

**社会奉仕委員会 川村徳男君**

市の美化運動にローターアクトクラブと活動したい。ボランティア運動は市と話し合い中です。

**国際青少年計画委員会 小池繁治君**

交換学生はジェームス君の後はやっておりません。又来年度は地区大会の関係上受入れがありませんので予算が残ると思いますので積立てにしておいて頂いたらよいと思います。

**米山奨学委員会 石川寿男君**

計画通り進行しております。募金の場合募金額を前もって申し上げるようにします。

**世界社会奉仕委員会 三浦悌三君**

WCSの募金は取止めました。又使用済切手を集めローターアクトにやって頂きたいと思っております。ご協力を。

## 例会メモ

○次期地区大会副幹事小池繁治君より、6月に行われる地区協議会で鶴岡クラブが記録を行う事になった為、会員若干名の協力をお願いする事となりますと報告があった。

(今週の担当者 石井敬三)